

## 熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名( 教育学部・教育学研究科 )

<b>目標1: 男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・教育学部の専門科目である「教育社会学特殊講義」ではジェンダーやセクシャリティに関連した内容を、「人権教育論」ではダイバーシティ (SOGI や LGBTIQ) の内容をそれぞれとり扱っている。</li><li>・男女が協力して家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す家庭科の教員養成にあたっては、男女共同参画、性別役割分担の現状、子育て支援、生活設計、キャリア教育、ダイバーシティの観点に立つライフスタイルの実現等に関する「家族関係学」、「家庭経営学」等の授業を実施している。</li></ul>
<b>目標2: 男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・本年度、教育学研究科で行った公募文書には、別紙 2-1 に示された内容を記載した。(以前より継続)</li></ul>
<b>目標3: 男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・教養教育科目である「女性のライフコースとキャリア」では、教育学部教員がコーディネートを務め、熊本県内で活躍している女性 (ホテル経営者、看護部長、新聞記者、医師、弁護士等) を講師として招き、地域における男女共同参画の優れた実践例を本学学生に紹介している。</li><li>・熊本県よかボス倶楽部幹事会会長、熊本県子ども・子育て会議委員、熊本市男女共同参画センター運営審議会会長等を務める教育学研究科教員があり、地域の男女共同参画社会の実現に貢献している。</li></ul>
<b>目標4: 次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・令和 3 年度の育児休業取得者は 2 名 (附属特別支援学校教諭 1 名、附属小学校教諭 1 名) であり、そのうち 1 名は男性である。また、育児時間取得者は 2 名 (附属特別支援学校教諭 2 名) である (2 名とも女性)。</li><li>・「よかボス宣言」(教育学研究科長) を研究科教授会で周知するとともに、廊下に掲示し、ワークライフバランスの実現にむけた職場環境の熟成に努めている。</li></ul>

**その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。**

- ・人権教育講演会において、「困難を抱えている女性や子どもの支援——ポストコロナにおける他者との関わり方」という題目で、困難を抱える女性や子どもへの支援活動をなさっている NPO 法人熊本どんぐりの代表理事・松永佳子氏にご講演を賜った（2022年3月7日実施）。
- ・次世代育成支援や男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの実現等に関する卒論研究が行われている。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

人権教育委員会ポスター

<https://prsf.kumamoto-u.ac.jp/public/jFTYwAOHNATAVjEBk6R-iV6ySziqEQmC62rmwRYT0o2H>

パスワード:Jinken2021

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。